

6.5 労働者集会の大成功をかちとろう



82.5.14

No. 1043

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市曙町二一八(動力車会館)
(電話)二九三五・六八(本部) 四五七二・七二〇七

才8回支 部代報告

5月13日に開かれた才8回支部代表者会議は、反弾圧、既得権剥奪・才2マル生攻撃生粉砕にむけ、怒りの大衆的決起をもつて反撃にうつって具体的な取り組みを決定した。

反弾圧、既得権はく奪・才2マル生攻撃 粉砕にむけた取り組みを確認

国鉄をめぐる情勢

政府自民院、才2臨調、国鉄当局は、マスコミを動員して「サミ・カマ・タル」悪徳横行、「国鉄労働者」国賊等々の反動的キャンペーンをもつて、世論形成を基礎に、いよいよ国鉄労働運動解体を企図した既得権剥奪・才2マル生攻撃にうつって出てきた。

それは4月27日、千葉鉄局長名による「取場規律の厳正化」の申し入れであり、従来団体交渉で確認されてきた超勤の四月以降支払いの一方的中止、「取場規律」悪徳横行は正しに名をかりた取場既得権剥奪・才2マル生攻撃の開始である。また同時に「3.13ゲリラ」事件を口実とした、動労千葉本部、津田沼支部署務所・組合員宅への不当家宅捜索、「本部派小川連」のデモ上げタレコミによる各の仲間に対する任意出頭攻撃等の激化は、いよいよ連年の国鉄労働運動解体攻撃の頂点をなすものとなる。

国労中央は、反撃するのではなく、「正す」べきは「正す」として、情状におし流されてしまつてこゝろ、一才、動労「本部」は、「働」の運動を組合員に強要し、才2マル生攻撃に全面協力してこゝろ。そして、権利：既得権防衛闘争に全面敵対し、警察権力へのデモあげ、タレコミ、告訴路線を転化させてこゝろ。

怒りの大衆的決起をもつて、反撃にうつって

どうしよう！

具体的取り組みについて
動労千葉は、こうした情勢の中にあつて、今こそ職場・生産点・モラトリアム、総反撃の体制をつくりあげていかなければならぬ。

I. 6.5労働者集会への全力決起をかちとろう

「才2臨調基本啓申・国鉄労働運動解体攻撃粉砕、動労千葉への刑事弾圧粉砕、三里塚二期攻撃阻止、6.5労働者集会」を、動労千葉主催のもとに全国国鉄労働者を結集し、7月臨調基本啓申・国鉄労働運動解体攻撃粉砕の一大闘争陣形を構築し、具体的には次の通り取り組む。

- (1) 全国オリーブの展開
- (2) 首都圏国鉄労働者への味方争
- (3) 地区労、各労組への呼びかけ
- (4) 駅頭宣伝

II 国労共闘の強化をかちとろう

6.5労働者集会成功のための取り組みと同時に、取場闘争を展開してゆく。各取場で国労共闘を積極的た追求し、創意工夫をもつて取場抵抗闘争を強化する。

III 業務上「悪徳横行」是正を先い出し、順法闘争の組織化をかちとろう

当局は、当局にこゝろ都合の良い事柄は不同に心してこゝろ、才2労働者の既得権・権利に侵害するものだけを集中的にこゝろ上りて「悪徳横行」是正という単なる攻撃をかちとるべきである。われわれは労働者の基本権を断固防衛する取場抵抗

闘争を強化する立場から、このように当局的単なる御都合主義的攻撃を粉砕しなければならぬ。

IV 反弾圧闘争の強化をかちとろう

国鉄労働運動解体攻撃の一方の程である権力の直接介入の弾圧に對して、6名の仲間への任意出頭攻撃を粉砕して闘う。また、3.27不当家宅捜索の違法性、デモ上げに對し、押収物件の「還付請求」の準備をもつて、更に徹底的に追進してこゝろ。

V. 5.23と24反戦・反核・三里塚への全力決起をかちとろう

米帝・トランプによる軍拡核戦争政策は、全世界を核戦争の危機へと突きすすみ、日本の政府支配階級も軍事大国化・改憲、安保強化政策をもつて、戦争への道を突きすすんでいこゝろ。こうした戦争と反動攻撃を許すならぬ。自分たちが日本の全面核武装化が公然と画策されることは必至である。こゝろに反戦・反核の闘いへの決起は重要であり、5.23反戦・反核東京大行動に全力で決起しなければならぬ。

同時に、三里塚現地では、反対同盟の自主耕作地に對する、政府公団、東当局的総力をあげた攻撃がはじまり、二期強行の新たな攻撃が策動されてこゝろ。

反対同盟は、反戦・反核闘争として闘うこゝろに決起してこゝろ。5.23反戦闘争と結合して、5.24三里塚現地闘争を闘ふ。